

2月の園だより

令和8年1月30日
下笠保育園

最近になって日暮れの時間が延び、園庭の桜の木に小さな蕾がたくさんできていることに、春の訪れが近づいているのを感じます。それでも、まだまだ朝夕、寒さの厳しい日々が続いています。園では、時期相応に、保健的で安全な環境を作り、快適な生活をしつつ、いろいろな遊びを楽しむようにしています。この1月22日、23日は雪が積もりました。子ども達は、寒さに負けずみんなで雪合戦を楽しんだり、雪だるまを作ったり、貴重な経験をしました。

卒園・進級まであと2ヶ月。子ども達は、夏の暑さ・冬の寒さを乗り越えて成長の蕾を大きく膨らませる充実期を迎えています。この時期に、もう一度子ども達の生活を見直すと共に、成長の自覚が感じられるよう援助していきたいと思います。ご家庭におかれましても、子ども達の健康に十分留意していただき、元気に登園できるよう励ましをお願い致します。

【今月の目標】
【養護】一人ひとりの健康状態を把握し、快適な生活が送れるように配慮する
【教育】園生活の経験をもとに、自己表現の喜びを味わう。

I. 2月の行事予定、誕生日おめでとう

行事予定		誕生日おめでとう	
3日(火)	豆まき会	《あかぐみ》	
4日(水)	子育てセミナー		くん
6日(金)	英会話(空組)		
10日(火)	お茶会(空組)	《きいぐみ》	
11日(水)	建国記念の日		さん
12日(木)	避難訓練、親子徒歩登園		さん
13日(金)	子育てサークル「ふれんず」		
16日(月)	描画教室(空組)	《あおぐみ》	
17日(火)	栄養指導(空組)		さん
18日(水)	入園説明会、園児健康診断(青・黄・赤・桃組)		くん
19日(木)	お誕生日会		
22日(日)	公民館まつり(空組)	《そらぐみ》	
23日(月)	天皇誕生日		さん
24日(火)	身体測定(3歳未満児)		
25日(水)	身体測定(3歳以上児)		
27日(金)	子育てサークル「ふれんず」		
28日(土)	生活発表会		
3月の行事予定			
11日(火)	お茶会(空組)、あそびの発表会(空組)		
31日(月)	卒園式(空組親子と青組園児)		
修了式(青・黄・赤・桃組 ※保護者の方は送迎お願いします)			
※・・・・の表記は保護者の参加を伴う行事です。			



II. 保護者の方々へのお知らせ・お願い

(1) 豆まき会をします。

2月3日(火)は『節分』です。節分は、冬と春の季節の変わり目となる日です。節分の夜には、数え年の歳の数だけ豆を食べるという習慣もあります。春のはじめに神が訪れて祝福を与えてくれるという古い信仰に基づいて家のおはらいをしたことがはじまりのようです。園ではそれぞれが作成した鬼のお面をかぶり、豆まきをします。

(2) 記念写真を撮影します。

2月下旬から3月上旬に記念写真を撮ります。撮影当日の服装は、園児服・園規定のトレジャツ・トレズボンです。これらを着用して登園させて下さい。頭髪を整え、名札を忘れずに園児服につけて下さい。欠席・遅刻のないようお願い致します。詳細は後日連絡致します。

III. 活動報告 トピックス「お正月あそびを楽しみました」

一月はお正月遊びを楽しみました。コマをまわして遊んだり、カルタ遊びをしたり、また各クラス年齢に合わせた凧を作り、冷たい風の吹く中、寒さに負けず自分たちの作った凧を持って元気いっぱい園庭を駆けまわりました。凧が大空に舞いあがると「あがったよ!あがったよ!」と歓声が上がり、どの子も嬉しそうな表情でいっぱいでした。

時には糸が絡み合ったり、小さい組のお友達の中には凧を引きずっている子の姿もありました。保育士の「もっと手をあげてごらん!」の声かけに思わず「ハイッ!」と反対の手をあげるかわいらしい姿に寒さも忘れる楽しい凧揚げとなりました。

近年は、伝承遊びをする子が少なくなっています。園での遊びの中で伝承遊びも取り入れて、子ども達がいろいろな遊びを経験し、その楽しさを味わってもらいたいと思います。(保育士 吉田)



IV. 健康メモ「やけどの手当」「用意しておきたい救急道具」について

① 「やけどの手当」について

ポット、炊飯器等々、家の中には熱傷(やけど)を起こす原因があります。電気毛布や使い捨てカイロなどは低温ですが、長時間同じ部位に密着していると低温やけどの原因になります。熱傷のときの応急手当は次の通りです。

- ・急いで冷たい水、水道水で冷やす。 ・衣類を脱がさないで、そのまま急いで冷水をかける。
- ・水ぶくれはつぶさないで、消毒した布でおおい冷やす。

② 「用意しておきたい救急道具」について

救急箱の中身をチェックしてみましょう。どんなものが入っていますか?消毒薬、傷に塗る抗生物質入り軟膏、ステロイドのクリーム、虫さされ用のかゆみ止め等々。薬は個々の体質や症状に合わせて使うものですから、より慎重に用意しなければなりません。救急箱には、「包帯、滅菌ガーゼ、脱脂綿、ピンセット、毛抜き、体温計」といった道具類をメインに、また、消毒液も、オキシドールやエタノール、うがい薬という基本的なものを入れておくことがよいそうです。